

# 日本医史学会会報

55号 (復刊)

令和元年10月30日

第121回日本医史学会総会・学術大会開催のご案内	会-1
第120回日本医史学会総会に参加して	会-2
第120回日本医史学会学術大会 会員大会	会-4
2018 (平成30) 年度関連医史学団体報告	会-13
雑報 (寄贈本リスト)	会-21

## 第121回日本医史学会総会・学術大会開催のご案内

実行委員長 志村 俊郎

この度、日本医科大学が、第121回日本医史学会総会・学術大会を主催させていただくことになりましたことは大変光栄な事であり、会員一同に心より感謝申し上げます。

第121回日本医史学会総会・学術大会は、2020年5月30日(土)・31日(日)の両日に、会場を日本医科大学医学部教育棟と日本医科大学橋桜会館で行われます。本学会の会長は、弦間昭彦日本医科大学学長、大会実行委員長は、志村俊郎日本医史学会理事が務めさせていただきます。本学は、1876(明治9)年に創立され多くの心優しき良医を育て、庶民に寄り添う医療を支えるとともに、野口英世先生をはじめとする研究者を生んだ伝統的に自由な校風を有する済生学舎を前身としており140年有余の長い歴史を刻んでおります。そこでメインテーマは、本学の前身である済生学舎の建学の精神とお互いに支え合う社会から「済生救民と社会との共生」とし、本学の伝統である「病

める庶民への社会貢献」の歴史を振り返ってみる事と致しました。さて日本医史学会の前身は、皆様良くご承知の如く明治25年に私立奨進医会が開催した先哲祭に遡ります。済生学舎の創立者長谷川 泰はその会の主たる講演者としても名を連ねており、その意味においても日本医史学会は、本学では初めての開催ではありますが、ゆかりの深い学会であります。

学会プログラムでは、会長講演は、弦間昭彦大会長より「多くの偉人を輩出した日本医科大学前身の済生学舎と本学関連史料」を講演頂きます。理事長講演では、順天堂大学 坂井建雄先生より「現代医学のルーツはどこにあるのか」を御講演頂きます。特別講演では、弘前大学名誉教授 松木明知先生より「華岡青洲の医学と思想に関して最近明らかになったこと」を御講演頂きます。また同時開催される区民公開講座では、ノンフィクション作家 柳田邦男先生よりいつも病める市民

に寄り添って来た「心に生きる日野原重明先生—30年余の豊かな学び、そして未来—」と題しお話しいただきます。シンポジウムの「医療史から済生救民を考える—長谷川 泰をめぐる人々—」では、長谷川 泰の恩師・知友との巡りあわせなどを、志村のシンポジウム講演「庶民の医療における済生救民と長谷川 泰」の後、済生救民の志を長谷川 泰に導いた蘭学塾 順天堂第二代堂主 佐藤尚中、長谷川 泰の内務省時代に泰に多大な影響を与えた後藤新平、ノーベル賞にノミネートされた世界的細菌学者である済生学舎卒業生の野口英世と長谷川 泰の帝国議会議員時代、そして私立伝染病研究所から縁のある北里柴三郎につき各権威に御講演を頂きます。その泰と巡り合った偉人達の歴史は現代および未来にも通じる幾多の何をなすべき教えがあるかそして泰がこれらの賢人の恩師・知友との交わりから次世代の人にいかなる生き方を残せるかを参加者の皆様とも共有したいと思います。その他、教育講演Iとして2020年のオリンピック・パラリンピックイヤーにふさわしい「わが国におけるパラリンピックの父—中村裕博士」を福岡整形外科病院顧問 小林晶先生に御講演をお願い致しました。また、教育講演IIとして、日本医科大学名誉教授で第11回後藤新平賞受賞者の山本保博先生に「日本や開発途上国での経験に基づいて、国境の壁、民族の壁、政治の壁、宗教の壁、文化の壁の「5つの壁」を乗り

越えることの重要性」の御講演をお願いします。会員の皆様には、主題にとらわれず本学会の柱となる広くいろいろな医史学領域の「一般演題」の募集を希求致します。また例年学会最終日に行われるオプションツアーでは文京区の史跡めぐりとして「近代医学の医聖と文人たち」と銘打って各史跡を日本医史学会理事 蔵方宏昌先生の監修で見回ります。尚特別展示としてはドイツ最古のハイデルベルグ大学で医学を学び、東京帝国大学で明治14年から教鞭をとった偉大な医学教育者で外科医のユリウス・スクリバが、日本の外科の父と言われ、多くの日本人の臨床医を育てようとした熱情が伝わってくる166冊の蔵書や「解体新書初版本」、「平次郎解剖図」、「アンブロワーズ・パレ (Ambroise Paré) の実践外科学」、「華岡青洲の口述写本」「蘭学事始」などを特別展示致します。

このように伝統ある日本医史学会を、多くの文化人の暮らした千駄木の地の日本医科大学で開催し、医学・医療史の発展に僅少ではありますが貢献したいと考えています。

全ての医療職・基礎科学者および文化人類史等の幅広い分野からの、医史学に興味のある多数の皆様のお参加を頂き、満開のつつじ咲く根津神社の文化の薫り高い千駄木の地で本学会を通し心の触れ合いをしたいと思います。皆様方の御参加を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 第120回日本医史学会総会に参加して

志村 俊郎

独立行政法人 東京労災病院

2019年5月18日～19日、ウインクあいち5階小ホール1・2を会場に山内一信大会長（名古屋大学名誉教授、藤田医科大学名誉教授）のもと、開催された。山内大会長は、以前名古屋大学時代に第96回本学会の実行委員長を務めたことがあ

り、随所にきめ細やかな気配りが行き届いた運営でありました。副テーマも、健康長寿社会を拓いた先哲から学ぶで、高齢化社会を迎えた日本にも示唆に富む幾多の教えがあることから市民公開講座4題を含む、理事長講演 特別講演 および申

榮全先生に韓国医史学の歩みと展望の特別講演と金城大学社会福祉学部福永肇先生は、教育講演I「日本病院史編纂から解ってきたこと」で古代から近代まで日本の医療に影響を与えた外国人医師を話されました。また名古屋大学国際機構辻篤子先生から教育講演II「多くのノーベル賞受賞者を生んだ名古屋大学」であった。

私は、幕末明治期の医療、医学教育の歴史の研究をして来ましたが、今回特に興味をもったのは、私の専門とは違う漢方の分野ですので、私は、最近の本学会の傾向を知る上で今回の一般演題87をセッション数の概要から検討した。セッション数は、医家2、女性1、学校・教育2、外国医学書1、漢方医学3、江戸医書2、1940・1950年代、グローバル2、人物・西洋1、医療全般1、イスラム他1、日本古代1、薬・本草1であり、以前圧倒的に多かった漢方全般や江戸医書が、研究レベルが著しく上がったもののやや減り、医史学全般に演題が広がった傾向であると思いました。

坂井建雄理事長講演では、「医史学が解き明かしたこと、物語ること」と題し、先生の最近の著書の「図説 医学の歴史」(医学書院2019)より先生の研究者としての原点であるベサリウスの解剖学から科学の歴史そして現代医学とはやや異なる18世紀以前の西洋伝統医学から西洋近代医学までの変遷を話された。特別講演1では、高橋昭先生が、川原病(球脊髄性筋委縮症)の解明が、この病態を明らかにした名古屋大学第一内科同門の多くの優れた研究からなされたその病態、治療法等の詳細を話された。市民公開講座では、青木國雄先生の座長で「移り行く疾病象とその社会医学的対応」と題し、肥満、がん治療、がんリスク要因等、聴衆に高齢者がやや多い本学会員の身近な健康問題として興味を持つ内容を各3人の演者より講演があった。

シンポジウム1は川島真人先生の座長で、ジェンナー、華岡青洲、伊藤圭介、北里柴三郎の4人の先哲の教えとして、今の健康長寿社会をどう築

きあげたか、そのためには、何をすべきかを、各演者が会員に語りかけた。渡部幹夫先生は、ジェンナーを導いた師ハンタの言葉「but why think, why not try the Expt.」を紹介した。土手健太郎先生は、華岡青洲の門弟たちが身を持って残した理念として「唯思起始回生術・何望輕裘肥馬門」を紹介した。大会長の山内一信先生は、名古屋の生んだ植物学者、博物学者の伊藤圭介が、徳川の動乱期に、洋学者として苦難を、乗り切り名古屋大学設立の先見性と意志の強さを紹介した。都倉武之先生は、「日本の細菌学の父」の北里柴三郎が、福澤諭吉から受け継いだ帝国大学の所謂「大学派」に対し伝染病研究所の創立から「私立」という視座を徹底した足跡を紹介した。

限られた紙面であるので、以下一般講演の2、3を紹介する。加藤茂孝先生は、「種痘に用いられたウイルスは何か？」1976年のジェンナーによって開発された種痘の研究の変遷から牛痘ウイルスではなく馬痘ウイルスであった事、最近発見された、2018年天然痘治療の医薬品まで感染症の歴史をさかのぼり述べた。稲松孝思先生は、「渋沢栄一の社会事業への関わり時代の變遷について」渋沢栄一は、経済人であるが、123件以上の福祉・医療関係の活動があり、養育院を設立、東京府病院を立ち上げに参与していることを発表した。来年は、オリンピックイヤーですが、柳澤波香先生は、「ストック・マンドヴィル病院：パラリンピック揺籃の地」と題し、1944年同病院の医師のグットマンは対麻痺患者が、可能なアーチェリーや、ボール競技は、実は、患者の身体機能の向上に役立ち、競争心の萌芽は、社会復帰の促進につながるとし、同病院にパラリンピックの父としてグットマン先生の銅像が、建立されていると報告した。会員の素晴らしい一般演題を、全て紹介できず申し訳ございません。最後になりましたが、ご後援を頂きました各団体の皆様方に厚く御礼申し上げますと伴に、末筆ながら山内一信会長ほかの実行委員の先生方には、重ねて謝意を表したいと思います。

## 第120回日本医史学会学術大会 会員大会

去る2019年5月17日(金)に社員総会が、18日(土)には会員大会がウインクあいちで開催されました。下記の報告が承認され、協議事項について全ての議案が可決されました。

### I. 報告事項 (2019年3月31日現在)

#### 1. 2018年度庶務報告

##### (1) 会員の動静

- ・ 入会者 45名
- ・ 退会者 40名

死亡会員 4名

友吉唯夫 (2018年6月20日逝去)

藤倉一郎 (2018年8月4日逝去)

福嶋正和 (2017年8月15日逝去)

松尾信一 (2018年10月6日逝去)

都合退会 36名

- ・ 現在会員数 763名
 

正会員	702名	(内 団体会員 20名, 海外会員 43名)
学生会員	37名	名誉会員 8名
功労会員	14名	賛助会員 2名

##### (2) 受賞

- |             |                                               |  |
|-------------|-----------------------------------------------|--|
| 2018年6月2日   | 第30回矢数医史学賞                                    |  |
| 2018年6月2日   | 第24回富士川游学術奨励賞                                 |  |
| 2018年10月16日 | 2018 David M. Little, Jr. Prize for Best Book |  |
| 2018年11月1日  | 日本医師会最高優功賞                                    |  |
| 2018年12月14日 | 北海道功労賞                                        |  |

Wolfgang Michel-Zaitso

加藤公太, 坂井建雄

松木明知

島田保久

長瀬 清

## 2. 2018年度事業報告

事業名		内 容	
日本医史学雑誌		第64巻第2・3・4号, 第65巻第1号 発行	
第119回日本医史学会総会 会長 園田真也 <small>そのだしんや</small>		鹿児島県医師会館 (鹿児島県)	2018年6月2日(土) ~3日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 5, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	2018年10月13日(土)
日本医史学会12月例会	共催	日本葉史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	2018年12月15日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	2018年11月23日(金・祝)
医心方と京都の医学史展2018	特別 協力	護王会館護王神社	2018年11月1日(木) ~3日(土・祝)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	2018年9月9日(日)
第28回漢方治療研究会	後援	九州大学医学部百年講堂	2018年10月7日(日)
ひとよぎり全国大会 in 中津	後援	川罵整形外科病院	2018年11月10日(土)

## 3. 第31回矢数医史学賞選考委員会報告

代表 宮川浩也みやかわこうや『日本医家伝記事典 宇津木昆台『日本医譜』(日本内経医学会)

## 4. 第25回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

加畑聡子か はたさとこ「山崎宗運の経穴学について—『釈骨』と「骨度折量法尺式」を中心に—」  
(日本医史学雑誌第64巻第4号掲載)

## 5. 学会の財政状況と寄付金について(資料①)

## 6. 関連医史学団体報告(資料A)

## II. 協議事項

### 第1号議案 2018年度決算報告に関する件 (資料1-2)

### 第2号議案 2019年度事業計画に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第65巻第2・3・4号, 第66巻第1号 発行	
第120回日本医史学会総会 会長 <small>やまうちかずのぶ</small> 山内一信		愛知県産業労働センター (愛知県)	2019年5月18日(土) ~19日(日)
第121回日本医史学会総会 会長 <small>げん まあきひこ</small> 弦間昭彦 実行委員長 <small>しむらとしろう</small> 志村俊郎	(準備)	日本医科大学橋桜会館 (東京都文京区)	2020年5月30日(土) ~31日(日)
第122回日本医史学会総会 会長 <small>ながの ひとし</small> 長野 仁	(準備)	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館) (島根県松江市)	2021年5月15日(土) ~16日(日)
第123回日本医史学会総会 会長 <small>どてけんたろう</small> 土手健太郎	(準備)	(愛媛県松山市内)	2022年5月 (中旬から末の予定)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会6月例会		日本医科大学同窓会館 橋桜会館	2019年6月22日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学	2019年9月
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	2019年12月21日(土)
神農祭	協賛	湯島聖堂	2019年11月23日(土・祝)
医心方と京都の医学史展	特別 協力	護王会館護王神社	2019年11月1日(金) ~3日(日・祝)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	2019年
第29回漢方治療研究会	後援		

### 第3号議案 2019年度予算に関する件 (資料3)

### 第4号議案 役員の改選に関する件 (資料4)

### 第5号議案 その他

- ・日本医史学会総会・学術大会候補者の推薦について  
推薦があった以下の総会・学術大会が決定した。  
第124回日本医史学会総会 会長 町泉寿郎(東京都)
- ・日本医史学会編『医学史事典』出版の企画について (資料5)



## 資料①

2019年5月

日本医史学会理事・代議員各位

日本医史学会理事長 坂井建雄

## 日本医史学会の財政状況と寄付金について

昨年の日本医史学会理事会・社員総会において、学会の財政状況についてご報告し、財政の安定化のためにご寄付をお願いしたところ、数多くの会員の方たちのご厚意により多くのご寄付を頂戴することができました。学会から感謝の意を表するために、寄付者のお名前を日本医史学雑誌に掲載させていただきます。

頂戴したご寄付の概要と財政の状況について以下にご報告します。

## 1) 学会への直接のご寄付

138名の会員から、総額4,487,000円のご寄付を頂戴いたしました。寄付者の方には、学会からお礼状をお送りしています。

## 2) 金原財団を通したご寄付

14名の会員から、総額2,310,000円のご寄付を頂戴いたしました。金原財団では事務経費として5%相当分(110,000円)を控除し、2,200,000円が日本医史学会に入金されました。寄付者の方には、金原財団から領収書と関連書類が送付されています。

合計で6,697,000円のご寄付を頂戴いたしました。そのうちの5,000,000円を今後の財政の基盤安定化のため特定資産(矢数医史学賞基金、富士川游学術奨励賞基金)に組み入れ、残りの1,697,000円を学会の運営経費として用いるために流動資産に組み入れました。

この1年間に頂戴した多額のご寄付により、日本医史学会の財政基盤は大きく改善しましたが、会員数の減少傾向と財政の慢性的な赤字の状況は変わっておりません。学会のみならず、学会の活力と魅力を共有し広めていただくとともに、これからも学会財政へのご協力を随時お願いいたします。金原財団を経由した寄付の募集も継続して行うこととします。

## 資料 1

## 貸借対照表

2019年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	136,211	
預金	4,391,478	
流動資産 合計	4,527,689	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,711,672	
矢数医史学賞基金	7,873,107	
富士川游学術奨励賞基金	3,467,285	
特定資産 合計	20,052,064	
(3) その他固定資産		
華岡碑	3,417,984	
その他固定資産 合計	3,417,984	
固定資産 合計	23,470,048	
資産 合計	27,997,737	
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
前受金	3,153,000	
預り金	41,620	
流動負債 合計	3,194,620	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	3,194,620	
<b>III 正味財産の部</b>		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	24,803,117	



## 資料2



## 正味財産増減計算書



自 2018年4月 1日  
至 2019年3月31日

科目	金額	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	7,501,005	
② 助成金	2,200,000	
③ 寄付金	4,487,000	
経常収益計	14,188,005	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	3,995,692	
② 事業費	1,001,763	
③ 人件費	2,985,964	
④ 会議費等	78,040	
⑤ 旅費交通費	808,900	
⑥ 通信・運送費	216,624	
⑦ 事務費	65,625	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 医学会負担金	84,700	
⑩ 減価償却費	74,304	
⑪ 雑費	31,150	
経常費用計	9,492,762	
当期経常増減額 = (1) - (2)	4,695,243	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	139	
経常外収益計	139	
(2) 経常外費用		
① 名簿製作費	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	139	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	4,695,382	
一般正味財産 期首残高	20,107,735	
一般正味財産 期末残高	24,803,117	
<b>II 正味財産期末残高</b>	24,803,117	

定款第31条に従い、2018年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

2019年4月15日

監事  

監事  

## 資料3

## 2019年度予算

科目	決算 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	予算	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 会費収入	7,501,005	8,000,000	
② 助成金	2,200,000	1,000,000	
③ 寄付金	4,487,000	800,000	
経常収益 計	14,188,005	9,800,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	3,995,692	4,000,000	
② 事業費	1,001,763	1,000,000	
③ 人件費	2,985,964	2,900,000	
④ 会議費等	78,040	70,000	
⑤ 旅費交通費	808,900	800,000	
⑥ 通信・運送費	216,624	200,000	
⑦ 事務費	65,625	60,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	84,700	90,000	
⑩ 減価償却費	74,304	74,304	
⑪ 雑費	31,150	30,000	
⑫ 予備費	0	100,000	
経常費用 計	9,492,762	9,474,304	
当期経常増減額 = (1) - (2)	4,695,243	325,696	
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	139	139	
経常外収益 計	139	139	
(2) 経常外費用			
① 名簿製作費	0	300,000	
経常外費用 計	0	300,000	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	139	-299,861	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	4,695,382	25,835	
一般正味財産 期首残高	20,107,735	24,803,117	
一般正味財産 期末残高	24,803,117	24,828,952	
<b>II 正味財産期末残高</b>	24,803,117	24,828,952	

## 資料4

## 一般社団法人 日本医史学会 役員氏名 (五十音順・敬称略 ○は新任)

理事長	坂井 建雄				
副理事長	小曾戸 洋				
常任理事	川寫 真人,	西卷 明彦,	真柳 誠,	ヴォルフガング・ミヒェル	
監事	鈴木 晃仁, 鈴木 達彦				
理事	青木 歳幸,	猪飼 祥夫,	蔵方 宏昌,	佐藤 裕,	澤井 直,
	志村 俊郎,	園田 真也,	瀧澤 利行,	長野 仁,	町 泉寿郎,
	松田 隆秀,	柳澤 波香,	山内 一信,	渡部 幹夫	
代議員	相川 忠臣,	板野 俊文,	○今井 秀,	岩間真知子,	○海原 亮,
	遠藤 次郎,	逢見 憲一,	小形 利彦,	郭 秀梅,	梶谷 真司,
	梶谷 光弘,	勝井 恵子,	○加藤 茂孝,	亀田 一邦,	川原由佳里,
	上林 茂暢,	小林 健二,	渋谷 敏,	島田 達生,	杉田 聡,
	鈴木 則子,	鈴木 紀子,	武田 時昌,	田中 誠二,	月澤美代子,
	○都倉 武之,	○土手健太郎,	○殿崎 正明,	永島 剛,	○野尻佳与子,
	橋本 明,	花輪 壽彦,	葉山美知子,	樋口 輝雄,	平尾真智子,
	星野 卓之,	松村 紀明,	宮川 浩也,	百瀬 祐,	○柳川 鍊平,
	山崎 正寿,	吉川 澄美			
名誉会員	岡田 靖雄,	奥沢 康正,	蒲原 宏,	酒井 シヅ,	杉田 暉道,
	田中 祐尾,	深瀬 泰旦,	松木 明知		
功労会員	青木 國雄,	赤祖父一知,	荒井 保男,	岩崎 鐵志,	片桐 一男,
	小林 晶,	島田 保久,	新村 拓,	高橋 昭,	中澤 淳,
	中橋 彌光,	原田 康夫,	松下 正明,	吉田 忠	
編集委員					
(委員長)	町 泉寿郎				
(委員)	逢見 憲一, 澤井 直, 永島 剛, 松村 紀明, 渡部 幹夫				

## 資料5

2019年5月

日本医史学会理事・代議員・会員各位

日本医史学会理事長 坂井建雄

## 『医学史事典』の企画について

先般、丸善出版から、日本医史学会編で『医学史事典』を刊行したいとの申し出があり、企画の内容を検討いたしました。この企画は、日本医史学会がこれまで蓄積してきた知的資産を社会に還元するとともに、学会の存在と活動を広く社会に示すよい機会になると考えます。また学会で編集委員会を立ち上げ、広く会員の方たちにおいてお願いして執筆していただくことが、医史学研究への関心を深め、医史学研究を活性化することにもつながると期待されます。

丸善出版ではこれまでいくつもの学会で同様の事典の出版の実績があり、現在は『数学史事典』と『科学史事典』の企画が進行中とのことです。小項目で言葉の定義を連ねたような従来の事典とは異なり、1項目2頁見開きの中項目で執筆者のうんちくを傾けた読み物的な面白さを込めたものになるとのことです。

初版の印税（10%）を原資として、執筆者の原稿料および編集委員への謝礼もお支払いすることが可能になります。

『医学史事典』を日本医史学会編の刊行物として認めていただき、また編集・執筆にあたって広く会員各位のご協力をいただくよう、お願いいたします。

(資料A)

## 2018 (平成30) 年度 関連医史学団体報告

### 北海道医史学研究会

#### 1) 平成30年度 北海道医史学研究会 年次総会・学術集会

日時 平成30年7月8日(日) 13時00分～15時20分

場所 北海道医師会館 8階会議室

1. 北海道医史学研究会 平成30年度年次総会

2. 北海道医史学研究会 平成30年度学術集会

進行 北海道医史学研究会 代表幹事 島田保久

〈演題発表〉

1. 近世後期の静内・三石における痘瘡流行 永野正宏 (医史学研究会)
2. 蝦夷地における水腫病の原因と当時の対策について 山岸 喬
3. 明治六年(1873) 医術開業取調について  
島田保久 (医史学研究会)・長瀬 清 (医史学研究会)
4. 開拓使時代 小樽で医療に従事した医師について  
島田保久 (医史学研究会)・長瀬 清 (医史学研究会)
5. 眼目秘録(慶長十八年)について(続) 竹田 眞 (竹田眼科)
6. C.W. フーフェラントの医学と長生法の関係 藤井義博 (藤女子大学)

〈紙上発表〉

1. フーフェラント教授の人間像と彼に宿るゲーテ的ヒューマニズム 鈴木重統
2. 幻の札幌薬学校 吉沢逸雄

挨拶 北海道医史学研究会 会長 長瀬 清

#### 2) 会誌発行

平成30年12月25日(火) 北海道医史学研究会誌「北辰」第13号発行

#### 3) 会員の受賞

- ・当研究会代表幹事の島田保久先生が、永年に亘る郷土医史学研究への功績などにより、平成30年11月1日(木)、「日本医師会最高優功賞」を受賞した。
- ・当研究会会長の長瀬清先生が、北海道における地域医療の推進への貢献などにより、平成30年12月14日(金)、「北海道功労賞」を受賞した。

### 新潟支部

今年度は支部としての例会、研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。平成30年度(2018年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

## 1) 学会・研究会などでの発表

- ①第119回日本医史学会総会(6月2~3日 鹿児島市・鹿児島県医師会館)  
長崎における牛痘種痘法接種者第一号である榎林建三郎の翻訳本 佐藤利英, 樋口輝雄
- ②第46回日本歯科医史学会総会(9月29日 東京都文京区・東京ガーデンパレス)  
高山彦九郎と股野玉川 西巻明彦  
歴史学の退潮を考える 西巻明彦  
日本歯科医師会発行「歯科医事衛生史前巻」(1940年)の記載事項について 樋口輝雄  
Richard J. Wolfe 著“Robert C. Hinckley and the Recreation of The First Operation Under Ether”と  
エーテルドーム内の絵について 佐藤利英, 樋口輝雄
- ③日本歯科医史学会第456回例会, 平成30年4月20日, 東京都台東区・モリタホール)  
沖縄のチャップリンー小那覇舞天こと小那覇全孝先生一 佐藤利英
- ④日本歯科医史学会第461回例会, 平成30年12月21日, 東京都台東区・モリタホール)  
医の博物館開館30周年を迎えて 佐藤利英
- ⑤第91回日本整形外科学会総会基調講演(5月24日 神戸市中央区・ポートピアホール)  
日本の14世紀より19世紀中期までの整形外科史的遺産について 蒲原 宏
- ⑥生きるための魔法の医言葉(3月13日 新潟市) 蒲原 宏
- ⑦竹山屯先生胸像復元記念シンポジウム(5月21日 新潟市中央区・新潟大学医学部)  
竹山屯先生の学系と業績 蒲原 宏
- ⑧第51回新潟整形外科懇話会(6月30日 新潟市中央区・シルバーホテル)  
近代整形外科地方普及の医史学的背景 蒲原 宏
- ⑨新潟市郷土史研究会(8月19日 新潟市)  
新潟の文明開化と洋方医竹山屯 蒲原 宏
- ⑩新潟中央病院創立50周年記念会(11月3日 新潟市中央区・新潟中央病院)  
新潟県における西洋医学の夜明け 蒲原 宏
- ⑪洋学史研究会12月例会(12月2日 東京都渋谷区・青山学院大学)  
藤林普山の講義と「解体新書」について—「普山先生 解屍篇講録全」を中心に— 長谷川一夫

## 2) 著作ならびに論文等

- ①整形外科の歴史(247~258) アメリカ整形外科の近代化(97~108) 蒲原 宏  
※“整形外科の歴史”は『整形外科看護』23巻1号~12号(2018年1~12月)に連載
- ②日本の14世紀から19世紀中期までの整形外科史的遺産について。  
日本整形外科学会雑誌92(2);新潟大学医学部整形外科教室同窓会誌66号 蒲原 宏
- ③『医譚』の充実・発展を祈念して, 医譚復刊108号 蒲原 宏
- ④新潟に初めて西洋医学をもたらした5人の外国人医師の物語。  
新潟開港150年記念冊子(木村薫共著) 蒲原 宏
- ⑤坂本竜馬は梅毒性神経障害で暗殺されたのか? 新潟市医師会報571号 蒲原 宏
- ⑥ツツガ虫病と草間文績の「疫病島」の報告, 新潟市医師会報572号 蒲原 宏

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内  
電話 025-267-1500 FAX 025-267-1134 日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

## 北陸支部

1. 会員数：39名（平成31年3月16日現在）

### 2. 活動報告：

(1) 第40回例会・総会：平成30年7月8日（日）

世話人：古林 秀則

会場：金沢大学サテライトプラザ

プログラム：

1) 特別講演：川瀧真人「杉田玄白と前野良沢～「解体新書」を巡って～」

2) 一般講演：板垣英治「スロイス「生理学」巻之一・生化学的事例についての考察」

板垣英治「スロイス「舎密学」が日本化学会認定化学遺産第044号に指定の報告」

山本 博「藤本純吉記「医事小言」所収「体操運動」図解の試み」

(2) 『北陸医史』第41号発行：平成31年1月30日

(3) 幹事会・連絡会：平成31年2月9日（土）

会場：ホテル金沢北の庄屋

### 3. 連絡先：

〒920-8640 金沢市宝町13-1

金沢大学医薬保健研究域医学系血管分子生物学教室内

北陸医史学会事務局（篠原治道，新村祐子）

電話：076-265-2182

E-mail: n-yuko@med.kanazawa-u.ac.jp

## 神奈川地方会

神奈川地方会におきましては、第51回（合同例会）、第52回の集会を開催致しました。

以下はプログラムを紹介させていただきます。

### 第51回神奈川地方会秋季例会と日本医史学会の合同例会

日時：2018年10月13日（土）14:00～17:20

場所：鶴見大学会館

14:00 開会の挨拶 松田隆秀（日本医史学会神奈川地方会会長）

#### I 推薦講演

○座長：石上友章 14:05～

1 『ベスト菌DNAの進化から見たベスト流行史』

演者：加藤茂孝先生（保健科学研究所学術顧問）

○座長：和智明彦 14:35～

2 『琉球における全身麻酔下での口唇裂手術』

演者：桐生迪介先生（かながわ循環器内科院長）



## II 特別講演

○座長：関根 透 15:05～

『マルチン・ルターの病歴』

演者：滝上 正先生（日本医史学会神奈川地方会元会長）

## III 特別企画《医史からみた幕末・維新》

○座長：松田隆秀 16:05～

1 『西郷隆盛の体調不良問題とその背後にあったもの』

演者：家近良樹先生（大阪経済大学特別招聘教授）

2 『特別ゲスト：竹内恵子さん（西郷隆盛・愛加那さんの玄孫）』

17:15 閉会の挨拶 関根 透（日本医史学会神奈川地方会副会長）

## 第52回日本医史学会神奈川地方会例会

日時：2019年4月13日（土）14時～17時

会場：鶴見大学会館（JR鶴見駅西口3分）

参加費：500円

14:00 開会の挨拶 松田隆秀（日本医史学会神奈川地方会会長）

I 一般演題 座長：服部智任（海老名総合病院院長）

14:05～14:35

『本邦における泌尿器科医史学』

演者：岡田清己先生（日本大学泌尿器科学教室 名誉教授）

II 依頼講演 座長：関根 透（日本医史学会神奈川地方会副会長）

14:40～15:40

『鎌倉稲村ヶ崎ローベルト・コッホの記念碑』

演者：正山 堯先生（鎌倉内科診療所院長）

III 特別講演 座長：松田隆秀

15:50～16:50

『オリンピックの歴史とスポーツ医学』

演者：武者春樹先生（聖マリアンナ医大スポーツ医学名誉教授）

「スポーツ医学の起源は近代オリンピックに少なからず縁があり、古代から近代オリンピックをスポーツ医学の視点から紹介します」

16:50 閉会の挨拶 関根 透（日本医史学会神奈川地方会副会長）

第51回、第52回共に大勢の参加者があり、盛会のうちに終了致しました。

## 東海支部

1. 下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』（第24集）出版記念会—洋学史学会12月例会共催—

平成30年12月2日（日）午後1時～4時（於名古屋市東山植物園植物会館研修室）

## 【記念講演】

伊藤圭介の名に因んだ学名を持つ植物のタイプ標本

加藤僖重氏

## 伊藤謙の墓誌—謙の生涯と著作—

- 伊藤圭介と清国副公使・張期桂との交流(2)— 幸田正孝氏  
 小石川植物園草木図説について(2)  
 —「巻二」に関する草稿類と植物名称を中心に— 邑田裕子氏  
 伊藤圭介著『日本産物誌』と服部雪斎の図  
 —牧野富太郎植物画コレクションと『金石図集』より— 田中純子氏  
 新出の伊藤圭介履歴関連資料について—翻刻と解説— 平野 恵氏  
 キュー王立植物園所蔵の伊藤篤太郎関係資料について(1) 岩津都希雄氏  
 伊藤圭介の年代別履歴と病歴 杉村啓治氏

(山内一信・高橋 昭)

## 関西支部

## ▽日本医史学会関西支部2018年秋季大会(30年度春季は開催なし)

平成30年11月11日(日) 於・大阪市立大学医学部学舎 4階中講義室 京都医学史研究会共催  
 〈一般演題〉

1. 「ベルツの日記」の登場人物(4) —ベルツ博士が見た伊藤博文— 山上勝久(大阪市立大学)
2. ベルリンに鴉外・エリスを訪ねて 飯塚修三(いづか眼科)
3. 京都汎愛医学校と菅野慎斎 八木聖弥(京都府立医大)
4. 梶原性全の見た『存真環中図』 三鬼丈知(大阪市立大学)
5. 『難経』虞注は現伝ではない『靈枢』を参考にしている 松岡尚則(研医会), 永塚憲治(研医会)
6. 四国医療専門学校所蔵 前橋藩中島家張子二体組銅人形について 松木宣嘉(四国医療専門学校)
7. ストーク・マンドヴィル病院:パラリンピック揺籃の地 柳澤波香(東京都)
8. 日本の種痘史上重要な技法について 相川忠臣(日赤長崎原爆病院)
9. 大坂の名医家・西田家について 今井秀(今井整形外科)
10. 渡邊祐二『精養要略』(1839)にみる看病人の心得 平尾眞智子(健康科学大学)
11. 眼科医 石原忍 安部郁子(研医会)
12. 現存する耆婆系図法師(灸針図)の系統について  
 —『針聞書』編纂に関する一考察— 長野仁(森ノ宮医療大学)
13. 落語と医学書—平賀源内異聞— 福田安典(日本女子大学)
14. 有馬撰蔵役『牛痘新書』とその背景について W.ミヒェル(九州大学)
15. 四川省成都老官山医学史料探求 猪飼祥夫(北里大学医史研)
16. 曲直瀬道三と春日局(足利13代將軍義輝乳母) 葉山美知子(京都医学史研究会)

## 〈特別講演〉

『醫譚』を支えた人々 除痘館専門委員 日本医史学会関西支部顧問 古西義磨

## 〈紙上発表〉

スウェーデンにおける乳幼児のヘルスプロモーション 小野尚香(畿央大学)

池田門人帖と『断毒論』版木押取事件 西巻明彦 (北里大学東洋医研)  
 早川隆助の周辺から見た明治・大正の自然史学の諸相 吉川澄美 (東京都)  
 森鼻宗次と彌性園の医師 田中祐尾 (大阪市立大学)  
 以上全口演の抄録は機関誌『醫譚』109号に記載します。(2019年6月発行予定)

▽支部機関誌『醫譚』107号 平成30年6月30日発行

支部機関誌『醫譚』108号 平成30年12月25日発行

上述機関誌の取載目次は関西支部メールアドレス(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内 日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

## 京都医学史研究会

▽平成30年度 第119回 日本医史学会参加(6月2日, 3日) (於) 鹿児島県医師会館

▽京都府医師会 学術講演会(10月4日) (於) 京都府医師会館

- ・講演: 近世後期の医療論理 — 京都で展開された『天命』論争の紹介 —
- ・講師: 香西豊子先生 (仏教大学社会学部・准教授)

▽醫道顕彰会例大祭および講演会(10月8日) (於) 今熊野観音寺・醫聖堂

- ・講演: 中華料理と医食同源の世界 — 医道・医食・長命の関係 —
- ・講師: 真柳誠先生 (茨城大学 名誉教授)

▽日本医史学会・関西支部学術講演会(11月11日) 参加 (於) 大阪市立大学医学部

▽京都府医師会 学術講演会(3月28日) (於) 京都府医師会館

- ・講演: 「医学史と寺田貞次『京都墳墓録』」
- ・講師: 濱口昭宏先生 (さきたまオケラの会, 漢方医療史家)

▽山協東洋観臓記念碑献花(3月29日)

▽山協社中解剖供養碑・山協家墓碑・墓参(同日3月29日) (於) 誓願寺

(京都医学史研究会代表 葉山美知子)

## 広島医学史研究会

第三回広島医学史研究会・岡山医学史研究会合同学術集会

日 時: 平成30年1月27日〈土〉14:00～

場 所: 広島大学医学部第一講義室

大会長: 日本赤十字社 中四国ブロック血液センター相談役 土肥博雄

参加費: 1,000円(学生: 無料)

1. 広島医学史研究会総会 14:00～14:30

2. 広島医学史研究会・岡山医学史研究会発表会 14:30～

- 戦間における米国の対日医療援助 京都大学名誉教授 泉 孝英
- 麻酔: 今, むかし(2) — 一口対口人工呼吸法の効果 — 門前歯科医院 門前弘美

○元岡山県知事・三木行治医師の公衆衛生（七）～三木行治と大渡順二の関係～

倉敷仁風ホスピタル 高木寛治

○「鞆（とも）の保命（ほうめい）酒」の漢方学的考証 広島国際大学医療栄養学部 神田博史

○難波抱節と門人たちの麻酔を使った手術について

岡山大学医学部客員研究員・中島醫家資料館主任研究員 木下 浩

○呉市と呉黄石

呉市 森原和之

### 3. 特別講演研究発表会終了後 16:30～

○「呉秀三」その業績とひととなり

郷土史家 田辺良平

### 4. 閉会の辞 17:20

《連絡先》広島医史学研究会 TEL082-257-5099 / FAX082-257-1982

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 広島大学医学部医学資料館内

(会長 広島大学 秀 道広)

## 福岡地方会

平成30年度福岡地方会は、下記の通り2度の研究発表会を開催いたしました。

次年度も例年通りほぼ同じ日程で2度の開催予定です。

### 第33回 福岡地方会

開催日時：平成30年8月25日 13:30～17:00

会 場：福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神4-8-15）

参加者数：23名（発表者を含む）

#### 【発表者・演題】

井口 潔	古くて新しい人間教育の温故知新
ヴォルフガング・ミヒエル	佐賀藩薬種商・野中家の洋医書について
上園 慶子	筑前須恵の田原眼科について
小串 俊雄	北原白秋と糖尿病
木村専太郎	オーソモレキュラー医学元年
隈部 敏明	秋月藩医のサロン楽只亭
小林 晶	九大整形外科と東（あずま）家
権藤 寿昭	ビルロート教授と周囲の音楽サロンの顔ぶれ
佐藤 裕	中国医学瞥見
柴田 浩一	自費出版本「久保猪之吉・医学と文学の狭間で」紹介
鈴木 友和	近世藩立医育施設と開業免許制度
原 寛	西洋医学の伝来と解剖書
丸山マサ美	バイオエシックス教育・研究の課題と展望 —アメリカ国立公文書館史料“Kyudai Vivisection”再考—

## 第34回 福岡地方会

開催日時：平成30年2月9日 13:30～17:00

会 場：福岡ガーデンパレス（福岡市中央区天神4-8-15）

参加者数：21名（発表者を含む）

## 【発表者・演題】

井口 潔	21世紀のパラダイム，楢円二重中心説 ……心的エネルギーの源は太陽にあり！
小串 俊雄	古川ロッパと糖尿病，肺結核（古川ロッパ昭和日記より）
小林 晶	賛生館・修猷館における語学教育について
佐藤 裕	久留米大学で行なっている医学史講義の紹介
鈴木 友和	藩立医育施設と遊学制度
ダーヴィット・クウィーラ	近世日本における庶民生活の中での障害者や難病者，異形奇形の者の暮らしとそれらをめぐる社会認識
原 寛	江戸時代から現代までの医療と社会の変遷
丸山マサ美	医療専門家の行動規範に関する一考察 The National Archives & Records AdministrationRG331資料に見る学生意見

## 雑報

### 寄贈本リスト

#### 【単行本】

- 吉元昭治『高野長英と蘭医学』「医聖社」2018  
 吉元昭治『図説 道教医学—東洋思想の淵源を学ぶ』「勉誠出版」2018  
 吉村昭記念文学館『津村節子展 いきること、書くこと』2018  
 入江武男『田代三喜ものがたり』「文化新聞社」2018  
 圭介文書研究会編伊藤圭介日記第二十四集名古屋市東山植物園」2018  
 謝心範『養生の智慧と気思想』「講談社」2018  
 日本内経医学会『日本医家伝記事典—宇津木昆台『日本医譜』—』2018  
 荒武賢一郎編『近世日本の貧困と医療』「古今書院」2019  
 西迫大祐『感染症と法の社会史』「新曜社」2018  
 日本内経医学会『日本医家伝記事典—宇津木昆台『日本医譜』—一人名索引』2019  
 坂井建雄編『医学教育の歴史』「法政大学出版局」2019  
 東洋学園大学 東洋学園史料室『本郷キャンパスの—世紀』2019  
 W.J. ビショップ著 川満富裕訳『外科の歴史—近代外科の生い立ち—』「時空出版」2019  
 日下古文書研究会『明治期の医師の日記 末田茂吉著『忍耐堂見聞雑誌』』2019  
 佐賀大学地域学歴史文化研究センター『佐賀藩薬種商・野中家資料の総合研究—日本史・医科学史・国文学・思想史の観点から—』2019  
 除痘館記念資料室『大阪除痘館の引札と摺りもの』2019  
 阿部章子『ヤップ島が日本だったころ』「光陽出版社」2017  
 大阪大学適塾記念センター『新版 緒方洪庵と適塾』2019  
 小形利彦編『はたごまち文庫—五稜星に魅せられて—山形県初の女性官許薬剤師 松田りつ—済生館と京都薬学校に学んだ立志の女—』2019  
 ミヒェル・ヴォルフガング, 吉田洋一, 大島明秀 共編『中津市歴史民俗資料館 分館医家史料館叢書 XVIII 史料と人物 VI』「中津市教育委員会」2019  
 坂井めぐみ『「患者」の生成と変容—日本における脊髄損傷医療の歴史的研究』「晃洋書房」2019  
 岡田靖雄『もうひとつの戦場—戦争のなかの精神障害者／市民』「立花出版」2019  
 ジョン・スノウ著 井上栄訳『コレラ, クロロホルム, 医の科学』「メディカル・サイエンス・インターナショナル」2019

#### 【別刷】

- 『吉田流鍼灸の祖吉田意休・嫡子喜安の実像と虚像』梶谷光弘「醫譚」日本医史学会関西支部（通巻125号）  
 『家族と介護の社会史』新村拓「作業療法ジャーナル」42（7）  
 『日本医史学会関西支部創立八〇周年記念関係論文綴』古西義磨「醫譚」日本医史学会関西支部（通巻124-126）

#### 【雑誌】

- 『あいみっく』39（4）, 40（1-2） 国際医学情報センター

- 『BIBLIA』（150-151）天理図書館
- 『Chinese Journal of Medical History』48（2-6），49（1-4） Chinese Medical Association
- 『Chinese Medical Journal』131（17-24），132（1-16） Chinese Medical Association
- 『だより（練馬区医師会）』（608-620）練馬区医師会
- 『北陸医史』（41）北陸医史学同好会
- 『北辰』（13）北海道医史学研究会
- 『醫譚』（通刊125-126）（復刊108-109）日本医史学会関西支部
- 『医道の日本』77（11-12），78（1-9）医道の日本社
- 『いわちどり（小笠医師会誌）』（46）小笠医師会
- 『JMA』1-2 日本医師会・日本医学会
- 『除痘館記念資料室だより』（12）（財）洪庵記念会・除痘館記念資料室
- 『漢方の臨床』65（10-12），66（1-9）東亜医学協会
- 『啓迪』（33）京都医学史研究会
- 『神奈川県医学会雑誌』46（1）神奈川県医師会
- 『研究紀要』（13-14）佐賀大学地域学歴史文化研究センター
- 『名古屋大学大学文書資料室紀要』（27）名古屋大学大学文書資料室
- 『日本医師会雑誌』147（8-12），148（1-8）日本医師会
- 『日本獣医史学雑誌』（56）日本獣医史学会
- 『日本歯科医史学会誌』33（1-2）日本歯科医史学会
- 『鳴滝紀要』（29）シーボルト記念館
- 『労働の科学』723（11-12），74（1-9）労働科学研究所
- 『斯文』（133-134）斯文会
- 『STETHOSCOPE』（230-233）日本医学切手の会会報
- 『適塾』（51）適塾記念会
- 『洋学史研究』（36）洋学史研究会
- 『洋学』（26）洋学史学会